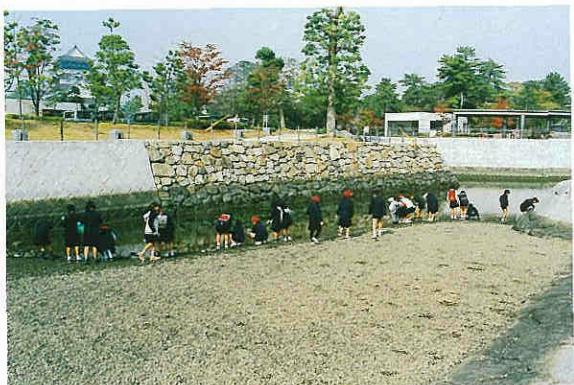


都心部の中に親水性豊かな水辺空間が創出され、憩いの場として利用されている



河川愛護活動などのイベントも開催される



子供たちの自然観察学習にも利用される

DATA・BOARD ④

- ①福岡県北九州市小倉北区城内
- ②面積：約4,000m²、延長：160m
- ③JR鹿児島本線小倉駅から徒歩約15分、北九州都市高速大手町ランプから車で約5分
- ④小倉城
- ⑤紫川かわべ祭り、市民はぜ釣り大会

34 洲浜ひろば



北九州市では、治水事業とまちづくりを一体的に行う、紫川マイタウン・マイリバーエリア事業を開発しており、この「洲浜ひろば」もその一環として、施工されたものである。整備が行われた場所は、商業地域や市庁舎などのオフィス街に隣接していることから、水辺に近づくことによって人の心を和ませ、潤い豊かなものにして、人間の五感から水辺空間を体験することを目的としている。

この地域の紫川は、海の影響を受ける場所であることから、潮位の変動により川の表情が多様な変化を見せるとともに、多くの生き物を観察することができる。こうした特性を効果的に活用するため、海の浜辺をイメージした洲浜を整備することにより、都市の中でも子供たちが自然の変化を体験できることにも配慮した。

周辺の護岸についても生態系に配慮し、自然石を使い隙間ができる石積みで施工して、カニや魚などが生息できるような魚巣護岸となっている。また、工事中には十六世紀につくられたと思われる石垣が発見され、この石を護岸の一部に使用して昔の姿を再現した。

整備後は、市街地に創出された親水性豊かな水辺空間として、散策や憩いの場として市民に親しまれしており、子供たちの自然観察や学習の場としても利用されている。また、紫川かわべ祭りのメイン会場に使用されたり、市民はぜつり大会なども開催されている。